

平成27年度 財政状況資料集

総括表（市町村）

都道府県名		埼玉県		市町村類型	Ⅲ－２	指定団体等の指定状況		区分	平成27年度(千円)	平成26年度(千円)	区分	平成27年度(千円・%)	平成26年度(千円・%)						
						財政健全化等	×	歳入総額	5,021,556	5,480,654	実質収支比率	2.2	3.5						
市町村名		鳩山町		地方交付税種地	2-5	財源超過	×	歳出総額	4,942,282	5,300,850	経常収支比率	90.9	93.9						
						首都	○	歳入歳出差引	79,274	(※1)	(98.3)	(102.8)							
						近畿	×	翌年度に繰越すべき財源	1,050	標準財政規模	3,534,745	3,384,858							
							×	実質収支	78,224	財政力指数	0.60	0.60							
人口		27年国調(人)		14,338		産業構造(※5)	中部	×	単年度収支	-38,881	16,214	公債費負担比率	10.3	10.7					
							過疎	×	積立金	143,504	17	健全化判断比率							
							山振	×	繰上償還金	-	-	実質赤字比率	-	-					
住民基本台帳人口 (※7)		28.01.01(人)		14,389		区分	22年国調	17年国調	低開発	×	積立金取崩し額	1,000	114,086	連結実質赤字比率	-	-			
																	第1次	217	306
		うち日本人(人)	14,295		3.2	3.9					将来負担比率	69.3	68.6						
			うち日本人(人)	14,388										1,849	2,273				
		増減率(%)		-0.6		26.9	29.2												
			うち日本人(%)	-0.6										4,809	5,156				
面積(km ²)		25.73		69.9		66.2													
人口密度(人/km ²)		557																	
世帯数(世帯)		5,309																	
職員の状況																			
特別職等	区分	定数	1人あたり平均給料月額(百円)	一般職員等(※6)	区分	職員数(人)	給料月額(百円)	1人あたり平均給料月額(百円)	地方債現在高		5,788,642	5,708,503							
	市区町村長	1	7,030 <th>一般職員</th> <td>113</td> <td>352,786</td> <td>3,122<th>うち公的資金</th><td>4,604,607</td><td>4,488,423<th colspan="3"></th></td></td>		一般職員	113	352,786	3,122 <th>うち公的資金</th> <td>4,604,607</td> <td>4,488,423<th colspan="3"></th></td>	うち公的資金	4,604,607	4,488,423 <th colspan="3"></th>								
	副市区町村長	1	5,840 <th>うち消防職員</th> <td>-</td> <td>-</td> <td>-<th>債務負担行為額(支出予定額)</th><td>-</td><td>-<th colspan="3"></th></td></td>		うち消防職員	-	-	- <th>債務負担行為額(支出予定額)</th> <td>-</td> <td>-<th colspan="3"></th></td>	債務負担行為額(支出予定額)	-	- <th colspan="3"></th>								
	教育長	1	5,580 <th>うち技能労務職員</th> <td>2</td> <td>*</td> <td>*</td> <th>収益事業収入</th> <td>-</td> <td>-<th colspan="3"></th></td>		うち技能労務職員	2	*	*	収益事業収入	-	- <th colspan="3"></th>								
	議会議長	1	2,980 <th>教育公務員</th> <td>5</td> <td>15,592</td> <td>3,118<th>土地開発基金現在高</th><td>211,269</td><td>210,944<th colspan="3"></th></td></td>		教育公務員	5	15,592	3,118 <th>土地開発基金現在高</th> <td>211,269</td> <td>210,944<th colspan="3"></th></td>	土地開発基金現在高	211,269	210,944 <th colspan="3"></th>								
	議会副議長	1	2,320 <th>臨時職員</th> <td>-</td> <td>-</td> <td>-<th rowspan="2">積立金現在高</th><th>財政調整基金</th><td>293,505</td><td>151,001<th colspan="3"></th></td></td>		臨時職員	-	-	- <th rowspan="2">積立金現在高</th> <th>財政調整基金</th> <td>293,505</td> <td>151,001<th colspan="3"></th></td>	積立金現在高	財政調整基金	293,505	151,001 <th colspan="3"></th>							
	議会議員	11	2,110 <th>合計</th> <td>118</td> <td>368,378</td> <td>3,122<th>減債基金</th><td>188</td><td>188<th colspan="3"></th></td></td>		合計	118	368,378	3,122 <th>減債基金</th> <td>188</td> <td>188<th colspan="3"></th></td>		減債基金	188	188 <th colspan="3"></th>							
						ラスパイレス指数	96.6			その他特定目的基金	319,924	224,550 <th colspan="3"></th>							
	一般会計等の一覧		事業会計の一覧		公営企業(法適)の一覧		公営企業(法非適)の一覧		関係する一部事務組合等一覧		地方公社・第三セクター等一覧		(※3)						
項番	会計名	項番	会計名	項番	会計名	項番	会計名	項番	組合等名	項番	団体名								
(1)	一般会計	(3)	国民健康保険特別会計	(6)	水道事業会計	(7)	農業集落排水事業特別会計	(10)	毛呂山・越生・鳩山公共下水道組合										
(2)	鳩山町毛呂山・越生都市計画事業今宿東土地区画整理事業(普通会計)	(4)	介護保険特別会計			(8)	浄化槽設置管理事業特別会計	(11)	西入間広域消防組合										
		(5)	後期高齢者医療特別会計			(9)	鳩山町毛呂山・越生都市計画事業今宿東土地区画整理事業	(12)	埼玉西部環境保全組合										
								(13)	広域静苑組合										

(注釈) ※1：経常収支比率の()内の数値は、「減収補填債(特例分)」及び「臨時財政対策債」を除いて算出したものである。
※2：各会計の一覧は主な会計(10会計まで)を記載している。
※3：地方公共団体が損失補填等を行っている出資法人で、健全化法の算出対象となっている団体については、「地方公社・第三セクター等」の団体名に○印を付与している。
※4：資金不足比率欄には、資金が不足している会計のみ記載している。
※5：産業構造の比率は、分母を就業人口総数とし、平成22年国調は分類不能の産業を除き、平成17年国調は分類不能の産業を含んでいる。
※6：個人情報保護の観点から、対象となる職員数が1人又は2人の場合は、「給料月額(百円)」と「1人当たり給料月額(百円)」を「アスタリスク(*)」としている。(その他、数値のない欄については、すべてハイフン(-)としている)。
※7：住民基本台帳人口については、住民基本台帳関係年報の調査基準日変更に伴い、平成25年度以降、調査年度の1月1日現在の住民基本台帳に登録されている人口を記載。

(1) 普通会計の状況（市町村）

歳入の状況（単位 千円・％）					地方税の状況（単位 千円・％）				
区分	決算額	構成比	経常一般財源等	構成比	区分	収入済額	構成比	超過課税分	
地方税	1,748,853	34.8	1,748,853	52.1	普通税	1,748,853	100.0	-	-
地方譲与税	66,320	1.3	66,320	2.0	法定普通税	1,748,853	100.0	-	-
利子割交付金	2,866	0.1	2,866	0.1	市町村民税	799,021	45.7	-	-
配当割交付金	11,453	0.2	11,453	0.3	個人均等割	25,717	1.5	-	-
株式等譲渡所得割交付金	11,524	0.2	11,524	0.3	所得割	711,875	40.7	-	-
地方消費税交付金	229,315	4.6	229,315	6.8	法人均等割	24,948	1.4	-	-
ゴルフ場利用税交付金	91,341	1.8	91,341	2.7	法人税割	36,481	2.1	-	-
特別地方消費税交付金	-	-	-	-	固定資産税	837,091	47.9	-	-
自動車取得税交付金	20,061	0.4	20,061	0.6	うち純固定資産税	837,091	47.9	-	-
軽油引取税交付金	-	-	-	-	軽自動車税	27,204	1.6	-	-
地方特例交付金	4,522	0.1	4,522	0.1	市町村たばこ税	85,537	4.9	-	-
地方交付税	1,202,180	23.9	1,109,796	33.1	釐産税	-	-	-	-
普通交付税	1,109,796	22.1	1,109,796	33.1	特別土地保有税	-	-	-	-
特別交付税	92,369	1.8	-	-	法定外普通税	-	-	-	-
震災復興特別交付税	15	0.0	-	-	目的税	-	-	-	-
（一般財源計）	3,388,435	67.5	3,296,051	98.2	法定目的税	-	-	-	-
交通安全対策特別交付金	2,622	0.1	2,622	0.1	入湯税	-	-	-	-
分担金・負担金	65,238	1.3	-	-	事業所税	-	-	-	-
使用料	19,090	0.4	7,411	0.2	都市計画税	-	-	-	-
手数料	5,889	0.1	-	-	水利地益税等	-	-	-	-
国庫支出金	444,416	8.9	-	-	法定外目的税	-	-	-	-
国有提供交付金（特別区財調交付金）	-	-	-	-	旧法による税	-	-	-	-
都道府県支出金	272,333	5.4	-	-	合計	1,748,853	100.0	-	-
財産収入	27,156	0.5	22,825	0.7					
寄附金	4,608	0.1	-	-	区分	平成27年度		平成26年度	
繰入金	94,221	1.9	-	-	徴収率（現・計）	98.9	95.9	98.7	95.5
繰越金	179,804	3.6	-	-	（％）（年・計）	98.9	96.1	98.9	95.9
諸収入	74,136	1.5	27,333	0.8	市町村民税	98.8	95.3	98.5	94.5
地方債	443,608	8.8	-	-	純固定資産税	-	-	-	-
うち減収補填債（特例分）	-	-	-	-					
うち臨時財政対策債	275,208	5.5	-	-	公営事業等への繰出	国民健康保険事業会計の状況			
歳入合計	5,021,556	100.0	3,356,242	100.0	合計	668,736	実質収支	82,425	
					下水道	145,333	再差引収支	94,029	
					上水道	-	加入世帯数（世帯）	2,849	
					工業用水道	-	被保険者数（人）	4,889	
					交通	-	被保険者	93	
					国民健康保険	112,641	1人当り	66	
					その他	410,762	保険税（料）収入額	278	
							国庫支出金		
							保険給付費		

（注釈）

普通建設事業費の補助事業費には受託事業費のうちの補助事業費を含み、
単独事業費には同級他団体施行事業負担金及び受託事業費のうちの単独事業費を含む。

歳出の状況（単位 千円・％）					
目的別歳出の状況（単位 千円・％）					
区分	決算額（A）	構成比	(A)のうち普通建設事業費	(A)のうち充当一般財源等	
議会費	91,932	1.9	-	91,932	
総務費	1,129,165	22.8	106,062	932,734	
民生費	1,423,315	28.8	382	883,086	
衛生費	426,206	8.6	1,527	417,778	
労働費	1,628	0.0	-	1,628	
農林水産業費	128,998	2.6	285	107,822	
商工費	52,515	1.1	10	48,920	
土木費	488,215	9.9	165,451	336,992	
消防費	310,682	6.3	-	310,682	
教育費	472,888	9.6	26,384	420,834	
災害復旧費	-	-	-	-	
公債費	416,738	8.4	-	416,738	
諸支出金	-	-	-	-	
前年度繰上充用金	-	-	-	-	
歳出合計	4,942,282	100.0	300,101	3,969,146	
性質別歳出の状況（単位 千円・％）					
区分	決算額	構成比	充当一般財源等	経常経費充当一般財源等	経常収支比率
義務的経費計	2,060,419	41.7	1,648,038	1,576,605	43.4
人件費	1,108,360	22.4	1,072,662	1,002,451	27.6
うち職員給	729,300	14.8	701,672	-	-
扶助費	535,321	10.8	158,638	157,416	4.3
公債費	416,738	8.4	416,738	416,738	11.5
元利償還金	416,689	8.4	416,689	416,689	11.5
内 うち元金	363,469	7.4	363,469	363,469	10.0
訳 うち利子	53,220	1.1	53,220	53,220	1.5
一時借入金利子	49	0.0	49	49	0.0
その他の経費	2,581,762	52.2	2,286,217	1,722,810	47.4
物件費	821,379	16.6	633,053	485,968	13.4
維持補修費	34,633	0.7	34,633	30,274	0.8
補助費等	814,134	16.5	764,451	590,840	16.3
うち一部事務組合負担金	528,331	10.7	528,331	467,190	12.9
繰出金	668,736	13.5	618,604	615,728	17.0
積立金	239,880	4.9	235,476	-	-
投資・出資金・貸付金	3,000	0.1	-	-	-
前年度繰上充用金	-	-	-	-	-
投資的経費計	300,101	6.1	34,891	-	-
うち人件費	6,282	0.1	6,282	-	-
普通建設事業費	300,101	6.1	34,891	-	-
うち補助	207,212	4.2	2,102	-	-
うち単独	92,889	1.9	32,789	-	-
災害復旧事業費	-	-	-	-	-
失業対策事業費	-	-	-	-	-
歳出合計	4,942,282	100.0	3,969,146	-	-

(2) 各会計、関係団体の財政状況及び健全化判断比率（市町村）

一般会計等の財政状況（単位：百万円）

	会計名	歳入	歳出	形式収支	実質収支	他会計等からの繰入金	地方債現在高	備考
1	一般会計	4,904	4,826	78	77	94	5,313	
2	毛呂山・越生都市計画事業・今宿東土地区画整理事業（普通会計）	171	170	1	1	0	475	
3								
4								
5								
6								
7								
8								
9								
10								
11								
12								
13								
14								
15								
16								
17								
18								
19								
20								
21								
22								
23								
24								
25								
26								
27								
28								
29								
30								
31								
32								
33								
34								
35								
36								
37								
38								
39								
40								
41								
42								
43								
44								
45								
46								
47								
48								
49								
50								
51								
52								
53								
54								
55								
56								
57								
58								
59								
60								
61								
62								
63								
64								
65								
66								
67								
68								
69								
70								
71								
72								
73								
74								
75								
76								
77								
78								
79								
80								
81								
82								
83								
84								
85								
86								
87								
88								
89								
90								
91								
92								
93								
94								
95								
96								
97								
98								
99								
100								
101								
102								
103								
104								
105								
106								
107								
108								
109								
110								
111								
112								
113								
114								
115								
116								
117								
118								
119								
120								
121								
122								
123								
124								
125								
126								
127								
128								
129								
130								
131								
132								
133								
134								
135								
136								
137								
138								
139								
140								
141								
142								
143								
144								
145								
146								
147								
148								
149								
150								
151								
152								
153								
154								
155								
156								
157								
158								
159								
160								
161								
162								
163								
164								
165								
166								
167								
168								
169								
170								
171								
172								
173								
174								
175								
176								
177								
178								
179								
180								
181								
182								
183								
184								
185								
186								
187								
188								
189								
190								
191								
192								
193								
194								
195								
196								
197								
198								
199								
200								
201								
202								
203								
204								
205								
206								
207								
208								
209								
210								
211								
212								
213								
214								
215								
216								
217								
218								
219								
220								
221								
222								
223								
224								
225								
226								
227								
228								
229								
230								
231								
232								
233								
234								
235								
236								
237								
238								
239								
240								
241								
242								
243								
244								
245								
246								
247								
248								
249								
250								
251								
252								
253								
254								
255								
256								
257								
258								
259								
260								
261								
262								
263								
264								
265								
266								
267								
268								
269								
270								
271								
272								
273								
274								
275								
276								
277								
278								

(3)市町村財政比較分析表(普通会計決算)

平成27年度

埼玉県鳩山町

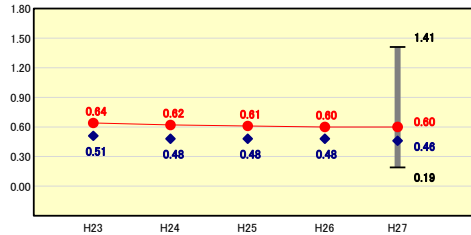
人	14,389	人(H28.1.1現在)	実	結	実	赤	字	比	率	-	%
うち日本人	14,295	人(H28.1.1現在)	通	結	実	公	債	費	比	-	%
面積	25.73	km ²	得	来	負	担	比	率		6.2	%
歳入総額	5,021,556	千円	市	町	村	類	型			69.3	%
歳出総額	4,942,282	千円	(	年	度	毎	)				
実収支	78,224	千円									
標準財政規模	3,534,745	千円									
地方債現在高	5,788,642	千円									



※市町村類型とは、人口および産業構造等により全国の市町村を35のグループに分類したものである。当該団体と同じグループに属する団体を類似団体と言う。
※平成28年度中に市町村合併した団体で、合併前の団体ごとの決算に基づく実質公債費比率及び将来負担比率を算出してない団体については、グラフを表記しない。
※充当可能財源等が将来負担額を上回っている団体については、将来負担比率のグラフを表記しない。
※「人件費・物件費等の状況」の決算額は、人件費、物件費及び維持補修費の合計である。ただし、人件費には事業費支弁人件費を含み、退職金は含まない。
※住民基本台帳人口については、住民基本台帳関係年報の調査基準日変更に伴い、平成25年度以降、調査年度の1月1日現在の住民基本台帳に登録されている人口を記載。
※類似団体内順位、全国平均、各都道府県平均は、平成27年度決算の状況である。また類似団体が存在しない場合、類似団体内順位を表示しない。

財政力

財政力指数 [0.60]



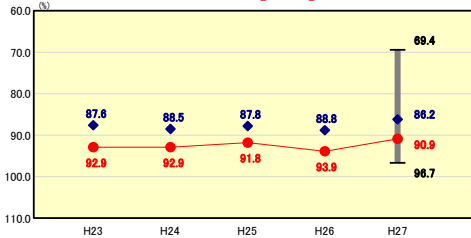
類似団体内順位 8/45 全国平均 0.50 埼玉県平均 0.78

財政力指数の分析欄

当町の財政力指数は類似団体平均値との比較では0.14ポイント上回っており、平成19年度から7年連続低下したが、平成27年度は前年度と同数値だった。
近年基幹財源である町税収入が団塊世代等の退職や若年層の人口流出による給与所得の減少により厳しい状況にあり、今後も継続的な減少が見込まれることから、若年層の人口の確保や、企業誘致推進等、地域の活性化による新たな税收確保を講じるなど、より一層の歳入確保に努める必要がある。

財政構造の弾力性

経常収支比率 [90.9%]



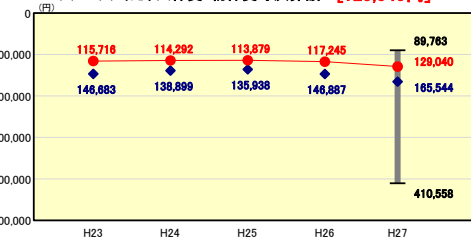
類似団体内順位 34/45 全国平均 90.0 埼玉県平均 90.9

経常収支比率の分析欄

前年度に引き続き、類似団体内平均値を上回る結果となった。その内訳としては、経常経費充当一般財源は、扶助費、物件費、維持補修費、補助費等が減少したものの、人件費、公債費、繰出金の増により全体で増加となった。
経常経費一般財源については、町税、地方消費税交付金、地方交付税等が上昇したことから、配当割交付金、減収補てん特例交付金等が減少したが、対前年度比3%下回った。
依然として類似団体内平均値を上回る数値となっていることから、歳出においては事務事業見直しを行うなど経常経費削減・節減を行い、歳入においては新たな歳入確保策を検討するなど、今後も引き続き数値の改善に努める必要がある。

人件費・物件費等の状況

人口1人当たり人件費・物件費等決算額 [129,040円]



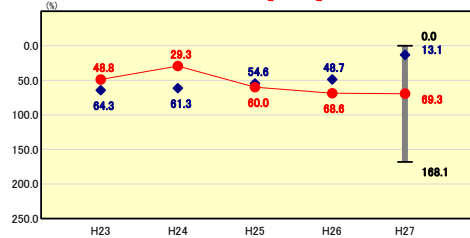
類似団体内順位 14/45 全国平均 121,920 埼玉県平均 98,814

人口1人当たり人件費・物件費等決算額の分析欄

行財政改革計画等により、人件費においては、職員数の削減、地域手当等の段階的な削減、そして、給与改定等による減少や、物件費においても、年度により臨時的費用による増減はあるものの、経常的費用については継続的に削減・節減に努めてきたが、一定の年度において職員の大規模退職等の見込みがあり、その補充等の必要があるため、埼玉県平均や前年度と比較すると上回っている。
また、職員の事務負担が過度になり、そのことにより町民に対するサービスの低下となることがないよう、人件費と物件費の削減をバランスよく進めていく必要

将来負担の状況

将来負担比率 [69.3%]



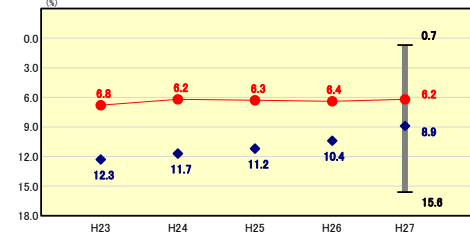
類似団体内順位 36/45 全国平均 38.9 埼玉県平均 24.3

将来負担比率の分析欄

平成25年度に前年度と比較すると30.7ポイントと大きく増加するとともに、平成27年度も対前年度比較で0.7ポイント増加するなど類似団体内平均値を上回った。
この要因については、算出基準となる将来負担額が、平成25年度以降、緊急防災・減災事業や学校教育施設等整備事業等の財源として地方債を活用したため、地方債の現在高が増加したことなどがあ

公債費負担の状況

実質公債費比率 [6.2%]



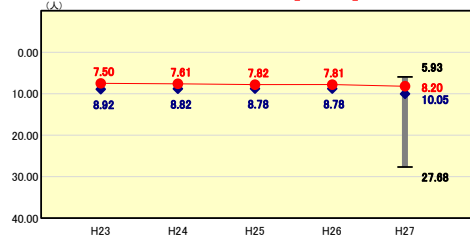
類似団体内順位 12/45 全国平均 7.4 埼玉県平均 4.9

実質公債費比率の分析欄

近年、投資的経費の抑制や特別債の地方債発行を行い、平成24年度以降増加傾向にあったが、平成27年度については前年度比で0.2ポイントの減少となった。前年度に引き続き類似団体内平均値、全国平均は下回ったが、埼玉県平均を上回る結果となっている。
しかしながら、平成20年以降、交付税措置のない地方債の借入を行うなど、比率の増加が見込まれていることから、今後も、今まで以上に国県補助金の活用や交付税措置のある地方債を出来るかぎり活用するなど、類似団体内平均値を上回ることのないような財政運営を心がける必要がある。

定員管理の状況

人口千人当たり職員数 [8.20人]



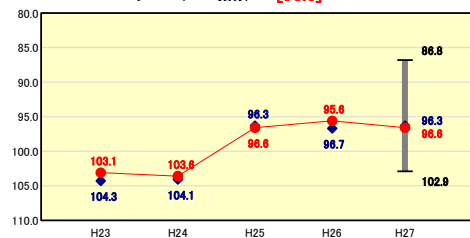
類似団体内順位 11/45 全国平均 8.96 埼玉県平均 5.70

人口千人当たり職員数の分析欄

町人口の減少傾向が緩やかに進んでおり、継続的に職員数の削減を行ってきたが、対前年度比では0.39ポイントの増加となった。また、類似団体内平均値と比較すると下回っているものの、全国平均や埼玉県平均を上回る結果となった。
今後も継続的に住民サービスの質を維持していく必要もあることから、類似団体内順位を下回っているとの理由により、単純に数値を下げるだけの定員管理などに特化することなく、職員数削減によりサービスの質を低下させることがないよう、適正な定員管理に努めていく必要がある。

給与水準（国との比較）

ラスパイレ指数 [96.6]



類似団体内順位 21/45 全国市平均 99.1 全国町村平均 96.3

ラスパイレ指数の分析欄

鳩山町においては、平成23年度に、8.3ポイント大幅増加となり、平成24年度は0.5ポイント増加するなど、グラフのように類似団体内平均値と同じように100.0ポイントを超える数値となっている。平成25年度のポイントの大幅な減少以降、ほぼ横ばいで、平成27年度は類似団体内平均値を0.3ポイント上回る数値となっている。
当町においては、埼玉県内でも例年低位に位置していたが、単純に当該指数のみで比較が難しい部分もあることから、職員数削減による職員一人当たりの事務量の増加や、新たな職員の確保の観点からも、給与体系や各種手当等において再度見直しを検討するなど、給与の適正化により一層努める必要がある。

(4)-1 市町村経常経費分析表(普通会計決算)

平成27年度

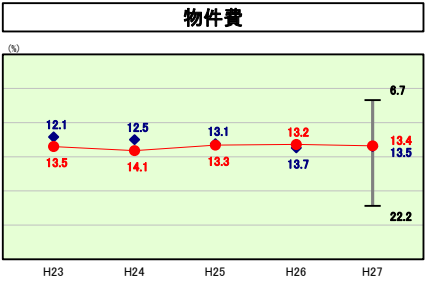
埼玉県鳩山町

経常収支比率の分析

人口	14,389	人(H28.1.1現在)	実質赤字比率	-	%
うち日本人	14,295	人(H28.1.1現在)	実質公債費比率	-	%
面積	25.73	km ²	将来負担比率	6.2	%
歳入総額	5,021,556	千円	市町村類型	H23 IV-2 H24 IV-2 H25 IV-2	
歳出総額	4,942,282	千円	(年度毎)	H26 IV-2 H27 III-2	
実質収支	78,274	千円			
標準財政規模	3,534,745	千円			



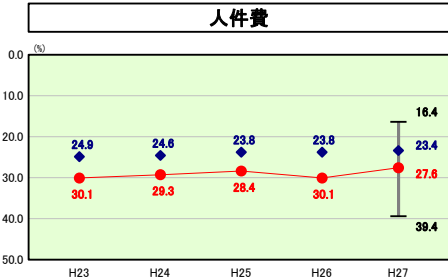
※ 市町村類型とは、人口および産業構造等により全国の市町村を35のグループに分類したものである。当該団体と同じグループに属する団体を類似団体と言う。
※ 住民基本台帳人口については、住民基本台帳関係年報の調査基準日変更に伴い、平成25年度以降、調査年度の1月1日現在の住民基本台帳に搭載されている人口を記載。
※ 類似団体内順位、全国平均、各都道府県平均は、平成27年度決算の状況である。また類似団体が存在しない場合、類似団体内順位を表示しない。



物件費の分析欄

平成25年度に情報系回線切り替え設定業務や外国人住民基本台帳システム回収業務等が完了したことにより、平成26年度は0.1ポイント減少したが、平成27年度は対前年度比で0.2ポイント増加している。

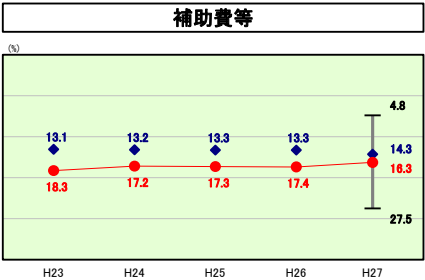
物件費の歳出に占める割合は約1割を占めているため、物件費総額の圧縮は経常経費削減の最も重要な課題であることから、今後も経費の圧縮・削減に向けた取組を継続して実施する必要がある。



人件費の分析欄

近年、経常収支比率算出の分母となる経常一般財源総額のうち、主に町税が団体世帯等退職などにより減少傾向が続いていることから、分子となる経常経費充当一般財源のうち、一般財源充当比率の高い人件費においては、行財政改革計画に伴う職員数縮減、地域手当の段階的な削減、給与改定等により、継続的な削減を図っており、対前年度比でも2.5ポイント減少している。

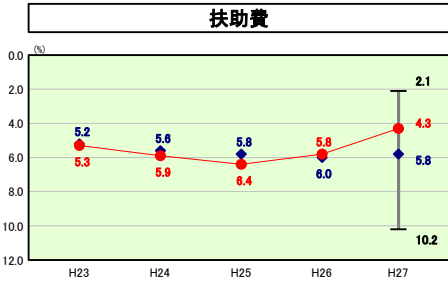
今後も引き続き人件費削減に努め、それ以上に、町税を中心に、経常一般財源の確保について、より一層努めていく必要がある。



補助費等の分析欄

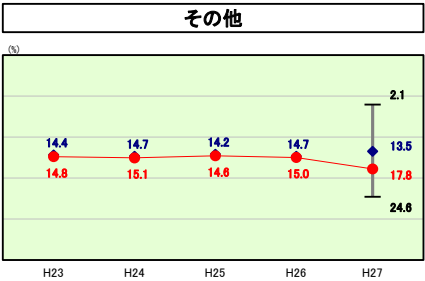
補助費等においては、町単独費用の占める割合が多く、事業費に対する一般財源充当率が比較的高いことから、補助内容を精査することなど部分的な削減等を行っているものの、一部事務組合への負担金などがその大きな割合を占めているため、類似団体内平均値と比較しても上回る比率となっている。

今後も引き続き、団体等への補助金においては、補助対象団体や事業内容の精査、補助対象の見直し等をより詳細に行うことにより、断続的にさらなる削減を行っていく必要がある。



扶助費の分析欄

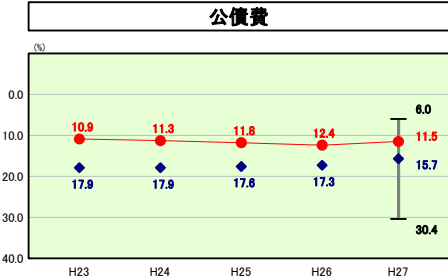
扶助費総額としては増加傾向にあるものの、国庫や県費などの特定財源も運動して増加していることから、平成21年度までは緩やかに減少傾向が続いていた。平成23年度においては、子ども手当支給開始に伴い、支出総額が大きく、一般財源充当の町単独分も大幅に増加したことから、比率も大幅に増加したが、全国的に増加したため、全国平均、埼玉県平均を下回る比率となっている。今後も、少子高齢化に伴い増加する傾向であるため、扶助費全体的に、支給対象の見直しを行うなどの対策が必要である。



その他の分析欄

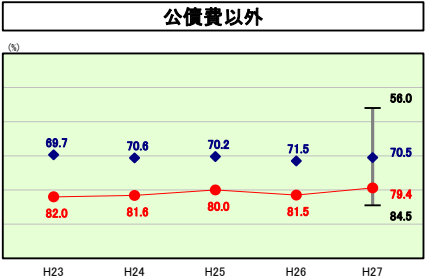
類似団体内平均値と比較して上回る数値となっており、前年度との比較では0.4ポイントの増加となっている。また、その他の費用の大きな割合を占めるものは特別会計への繰出金となる。

主に、民生分野への特別会計繰出金が全体的に増加傾向にあり国民健康保険特別会計繰出金、後期高齢者医療特別会計繰出金、介護保険特別会計繰出金、後期高齢者医療広域連合会への負担金等、給付額が増加すれば運動して自治体負担も増加することから、国としての社会保障制度改革が必要であると思われる。



公債費の分析欄

地方交付税代替措置である臨時財政対策債の制度継続や、平成25年度以降、主に土木債や教育債などの建設事業債の借入も新たに行っていることから、今後は増加傾向となることが見込まれているため、地方債現在高や償還額の推移を見極めながら計画的な借入を行う必要がある。



公債費以外の分析欄

各種平均値比較では依然として上回っている。

平成27年度については、扶助費等が減少したため対前年度2.1ポイントが減少する結果となった。

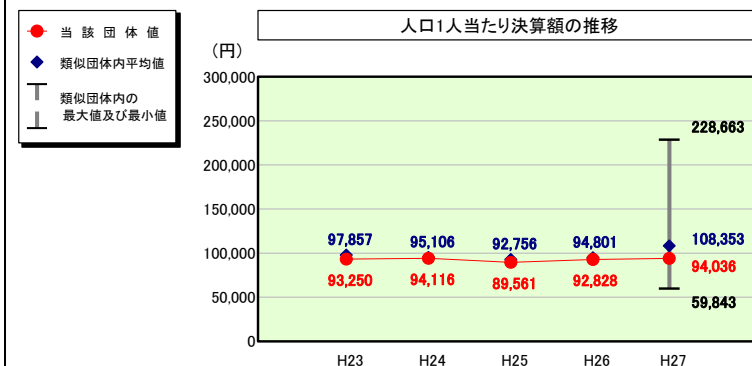
そのようなことから、公債費以外の改善を円れば全体的に改善されることになるのだが、経常経費削減は既に継続的に行っており、結果としても表れていることから、改善策としては、分母となる経常一般財源総額、主に町税の確保についても経常経費削減以上に行っていくことが必要となる。

(4)-2 市町村経常経費分析表(普通会計決算)

平成27年度

埼玉県鳩山町

人件費及び人件費に準ずる費用の分析



人件費及び人件費に準ずる費用

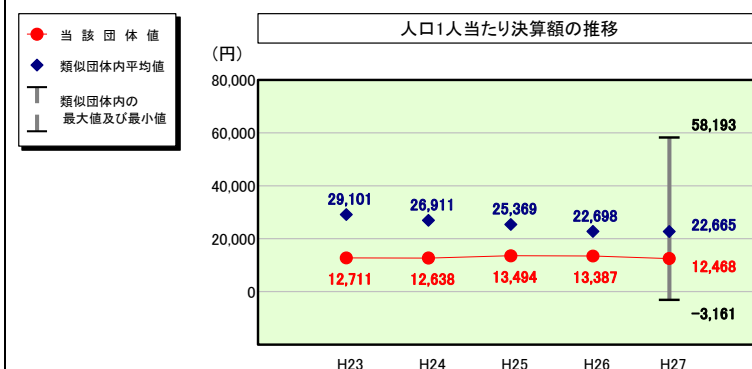
	当該団体決算額 (千円)	当該団体(円)	人口1人当たり決算額 類似団体平均(円)	対比(%)
人件費	1,108,360	77,028	88,618	▲13.1
賃金(物件費)	58,283	4,051	9,248	▲56.2
一部事務組合負担金(補助費等)	254,688	17,700	13,111	35.0
公営企業(法適)等に対する繰出し(補助費等)	-	-	631	-
公営企業(法適)等に対する繰出し(投資及び出資金・貸付金)	-	-	-	-
公営企業(法非適)等に対する繰出し(繰出金)	39,366	2,736	4,206	▲35.0
事業費支弁に係る職員の人件費(投資的経費)	6,282	437	1,853	▲76.4
▲退職金	▲113,901	▲7,916	▲9,315	▲15.0
合計	1,353,078	94,036	108,353	▲13.2

参考

	当該団体	類似団体平均	対比(差引)
人口1,000人当たり職員数(人)	8.20	10.05	▲1.85
ラスパイレズ指数	96.6	96.3	0.3

(注) 住民基本台帳人口については、住民基本台帳関係年報の調査基準日変更に伴い、平成25年度以降、調査年度の1月1日現在の住民基本台帳に登録されている人口を記載。

公債費及び公債費に準ずる費用の分析

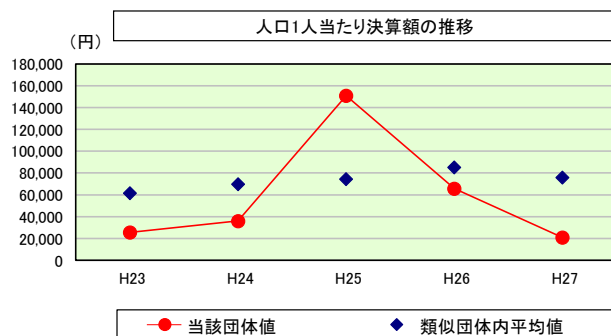


公債費及び公債費に準ずる費用(実質公債費比率の構成要素)

	当該団体決算額 (千円)	当該団体(円)	人口1人当たり決算額 類似団体平均(円)	対比(%)
元利償還金の額 (繰上償還額等を除く)	416,689	28,959	56,391	▲48.6
積立不足額を考慮して算定した額	-	-	-	-
満期一括償還地方債の一年当たりの元金償還金に相当するもの (年度割相当額)	-	-	12	-
公営企業に要する経費の財源とする地方債の償還の財源に 充てたと認められる繰入金	17,300	1,202	15,281	▲92.1
一部事務組合等の起こした地方債に充てたと認められる 補助金又は負担金	138,931	9,655	4,643	107.9
公債費に準ずる債務負担行為に係るもの	-	-	1,074	-
一時借入金利子 (同一団体における会計間の現金運用に係る利子は除く)	49	3	6	▲50.0
▲特定財源の額	-	-	▲3,030	-
▲地方債に係る元利償還金及び準元利償還金に要する経費として 普通交付税の額の算定に用いる基準財政需要額に算入された額	▲393,564	▲27,352	▲51,711	▲47.1
合計	179,405	12,468	22,665	▲45.0

※平成28年度中に市町村合併した団体で、合併前の団体ごとの決算に基づく実質公債費比率を算出していない団体については、グラフを表記しない。

(参考) 普通建設事業費の分析



普通建設事業費

	当該団体決算額 (千円)	当該団体(円)	増減率(%) (A)	人口1人当たり決算額 類似団体平均(円)	増減率(%) (B)	(A)-(B)
H23	384,187	25,510	▲63.1	61,557	▲4.9	▲58.2
うち単独分	195,912	13,009	▲29.5	32,497	1.8	▲31.3
H24	534,873	36,001	41.1	69,806	13.4	27.7
うち単独分	119,094	8,016	▲38.4	32,823	1.0	▲39.4
H25	2,219,856	150,887	319.1	74,444	6.6	312.5
うち単独分	886,586	60,263	651.8	34,175	4.1	647.7
H26	950,997	65,722	▲56.4	85,205	14.5	▲70.9
うち単独分	589,537	40,742	▲32.4	38,847	13.7	▲46.1
H27	300,101	20,856	▲68.3	75,972	▲10.8	▲57.5
うち単独分	92,889	6,456	▲84.2	40,712	4.8	▲89.0
過去5年間平均	878,003	59,795	34.5	73,397	3.8	30.7
うち単独分	376,804	25,697	93.5	35,811	5.1	88.4

(5)市町村性質別歳出決算分析表(住民一人当たりのコスト)

平成27年度

埼玉県鳩山町

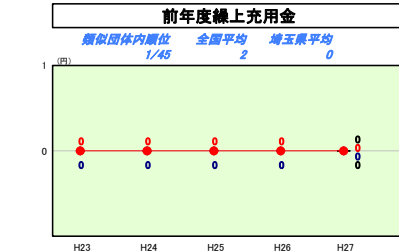
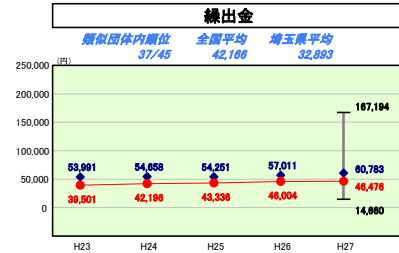
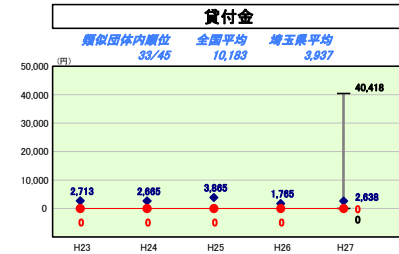
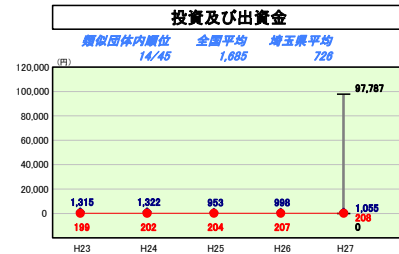
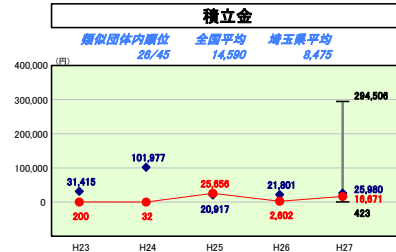
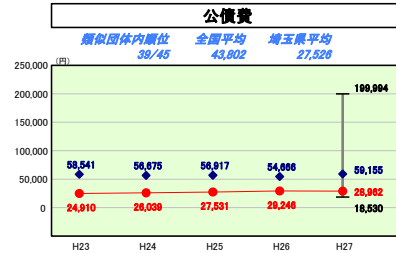
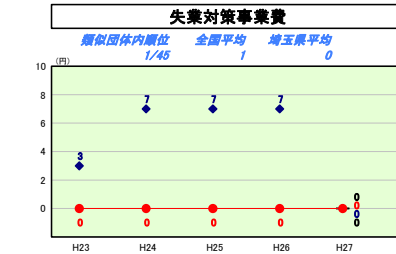
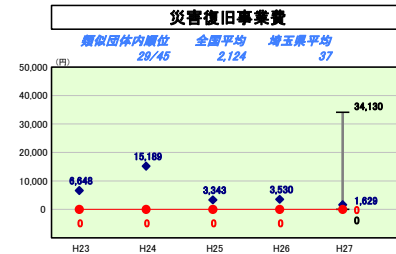
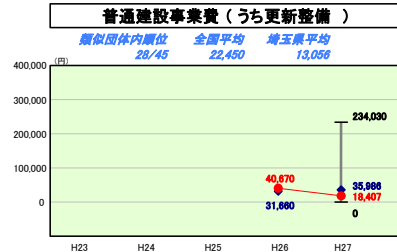
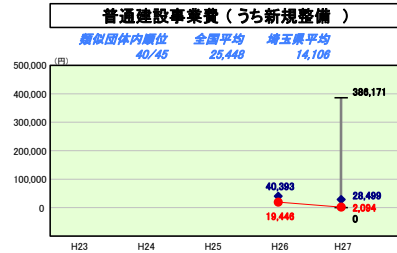
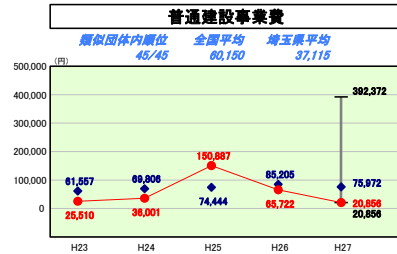
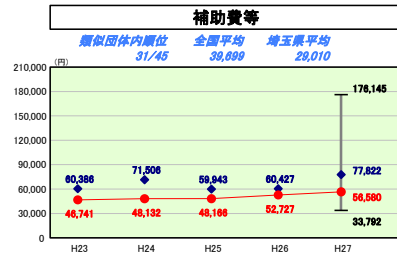
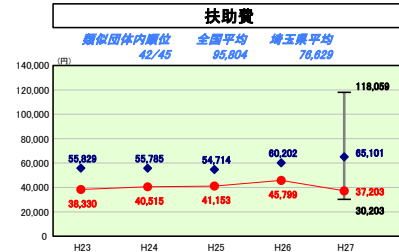
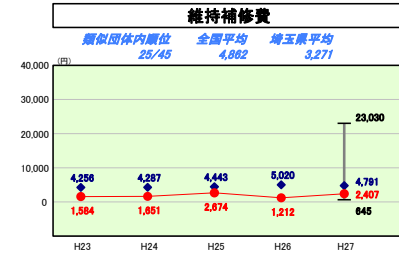
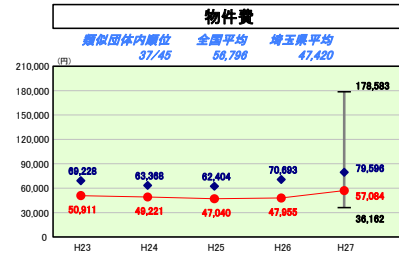
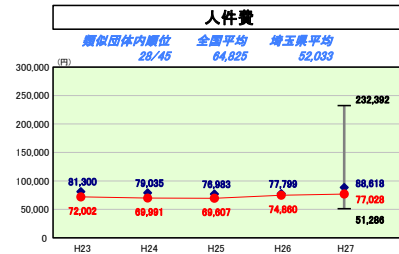
人	口	14,389	人(28.1.1現在)	実	資	赤	字	比	率	-	%
うち日本人		14,295	人(28.1.1現在)	通	算	実	資	赤	字	比	率
面	積	25.73	km ²	実	資	公	債	費	比	率	6.2
歳入総額		5,021,556	千円	実	資	公	債	費	比	率	69.3
歳出総額		4,942,282	千円	得	来	負	担	比	率		
実質収支		78,274	千円	市	町	村	類	型	H23	IV-2	H24
標準財政規模		3,534,745	千円	(	年	度	毎	)	H26	IV-2	H27
地方債現在高		5,788,642	千円						H25	IV-2	



※ 市町村類型とは、人口および産業構造等により全国の市町村を35のグループに分類したものである。当該団体と同じグループに属する団体を類似団体と言う。

※ 住民基本台帳人口については、住民基本台帳関係年報の調査基準日変更に伴い、平成25年度以降、調査年度の1月1日現在の住民基本台帳に登録されている人口を記載。

※ 類似団体内順位、全国平均、各都道府県平均は、平成27年度決算の状況である。また類似団体が存在しない場合、類似団体内順位を表示しない。



性質別歳出の分析欄

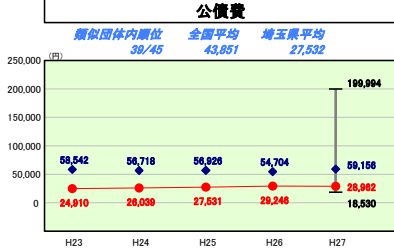
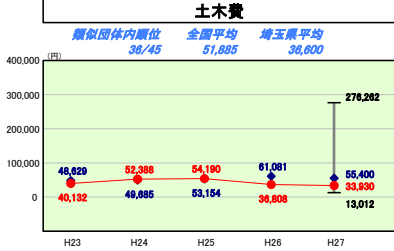
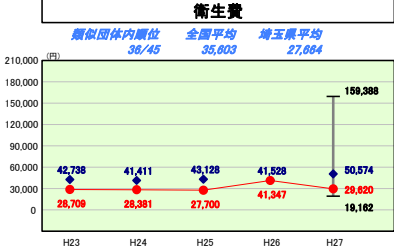
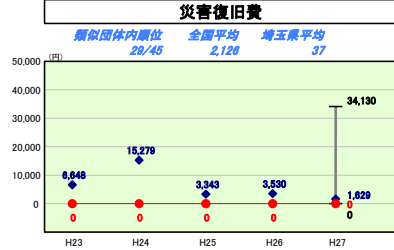
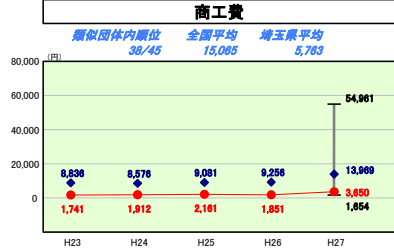
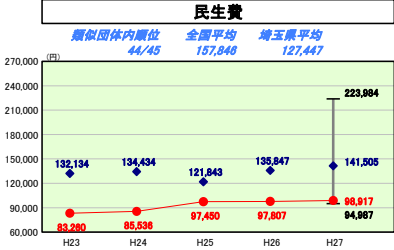
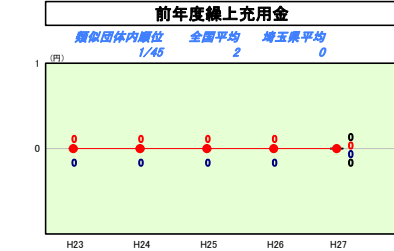
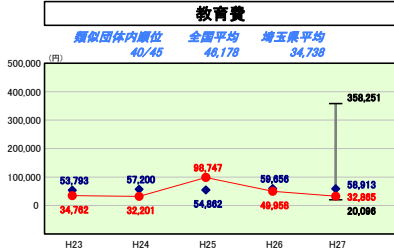
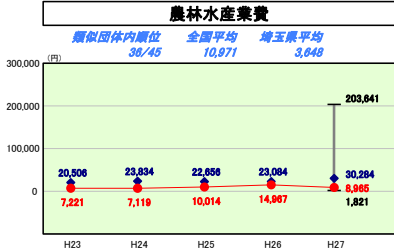
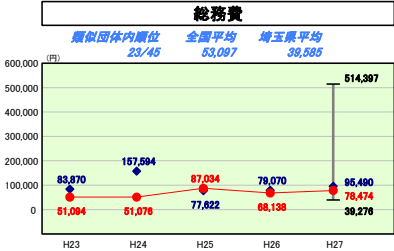
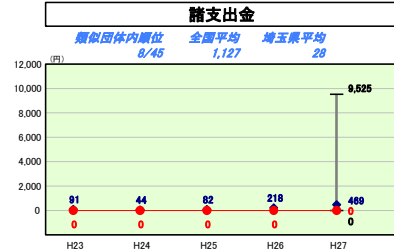
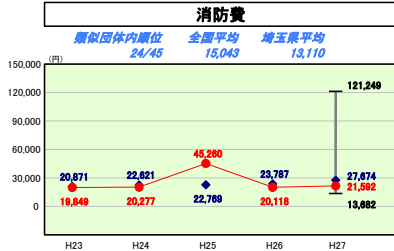
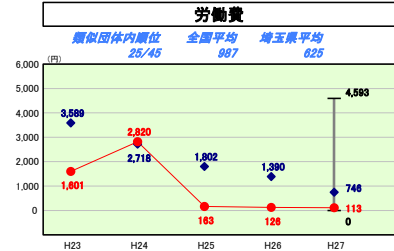
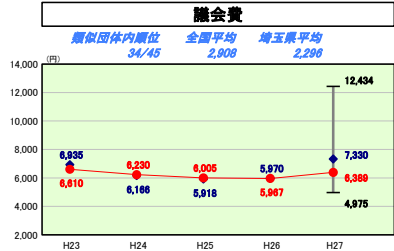
人件費については類似団体内順位のほぼ平均値であり、今後も職員数の削減、地域手当等の段階的な削減、そして、給与改定等による減少など、住民サービスを維持しながら適正な費用となるよう努める。普通建設事業費は、平成25年度の緊急防災・減災事業の影響で大幅に増えており、平成27年度時点でも社会資本整備総合交付金による事業を行っているため、類似団体内順位は最下位となった。今後も必要な道路整備・施設の建設が続き、増加していくと思われる。社会資本整備総合交付金事業には公共事業等債等を活用するため、公債費は運動して増加している。扶助費については、国庫補助事業と運動しているものであり、今後も対象を精査しながら事業を行っていく予定である。他会計への繰出金は、各特別会計の健全な運営を促しつつ、調整していく必要がある。当町でも平成28年度に公共施設の総合管理計画及び固定資産台帳が整備されるので、今後作成される統一的な基準による財務書類をもとに、自団体の資産の状況を正しく把握し、他団体との比較検討をしつつ、適正な財政運営を行っていく必要がある。

(6)市町村目的別歳出決算分析表(住民一人当たりのコスト)

人	口	14,389	人(28.1.1現在)	実	資	赤	字	比	率	-	%
うち日本人		14,295	人(28.1.1現在)	通	算	実	資	赤	字	比	率
面積		25.73	km ²	実	資	公	債	費	比	率	6.2
歳入総額		5,021,556	千円	得	来	負	担	比	率	69.3	%
歳出総額		4,942,282	千円	市	町	村	類	型	H23	IV-2	H24
実質収支		78,224	千円	(	年	度	毎	)	H26	IV-2	H27
標準財政規模		3,534,745	千円						H27	Ⅲ-2	H25
地方費現在高		5,788,642	千円								IV-2



※ 市町村類型とは、人口および産業構造等により全国の市町村を35のグループに分類したものである。当該団体と同じグループに属する団体を類似団体と言う。
※ 住民基本台帳人口については、住民基本台帳関係年報の調査基準日変更に伴い、平成25年度以降、調査年度の1月1日現在の住民基本台帳に登録されている人口を記載。
※ 類似団体内順位、全国平均、各都道府県平均は、平成27年度決算の状況である。また類似団体が存在しない場合、類似団体内順位を表示しない。



目的別歳出の分析額

議会費・総務費・農林水産業費・消防費・教育費は類似団体と差異の少ない数値となっている。平成27年度で平均よりも低い数値の出た町の歳出の割合は、民生費28.8%、衛生費8.6%、労働費0.0%、商工費1.1%公債費8.4%である。類似団体の平均を下回る民生費だが、町の歳出としては高い割合となっており、今後、福祉の対象者を精査するなどして適正な歳出となるよう検討していく必要がある。

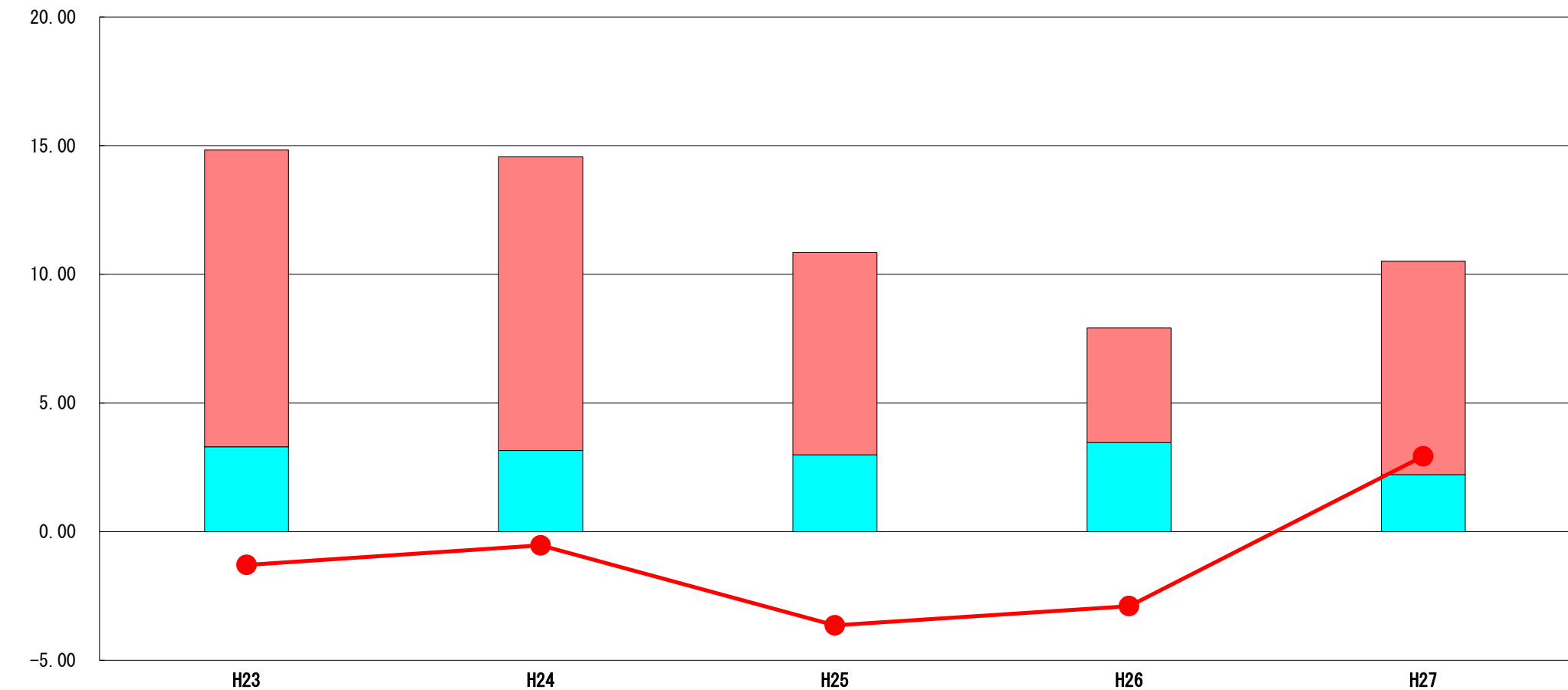
その他、公債費については平成25年に実施した緊急防災・減災事業や、土木債などの影響により今後増加が見込まれるので、地方債残高や償還額の推移を見極めながら、計画的な借入を行う必要がある。

(7) 実質収支比率等に係る経年分析（市町村）

平成27年度

埼玉県鳩山町

標準財政規模比（％）



標準財政規模比（％）

区分	年度	H23	H24	H25	H26	H27
財政調整基金残高		11.53	11.40	7.85	4.46	8.30
実質収支額		3.30	3.16	2.99	3.46	2.21
実質単年度収支		▲ 1.29	▲ 0.53	▲ 3.64	▲ 2.89	2.93

分析欄

歳入予算規模の推移については、平成22年度に国の経済危機対策（公共投資臨時交付金による義務教育施設の耐震化等）を積極的に活用したことにより財政規模が増加した。また、平成24年度に県道歩道整備事業、都市公園整備事業や緊急防災・減災事業の実施、平成25年度は防災安全交付金、地域の元気臨時交付金事業、26年度はがんばる地域交付金事業などの実施が要因となっている。

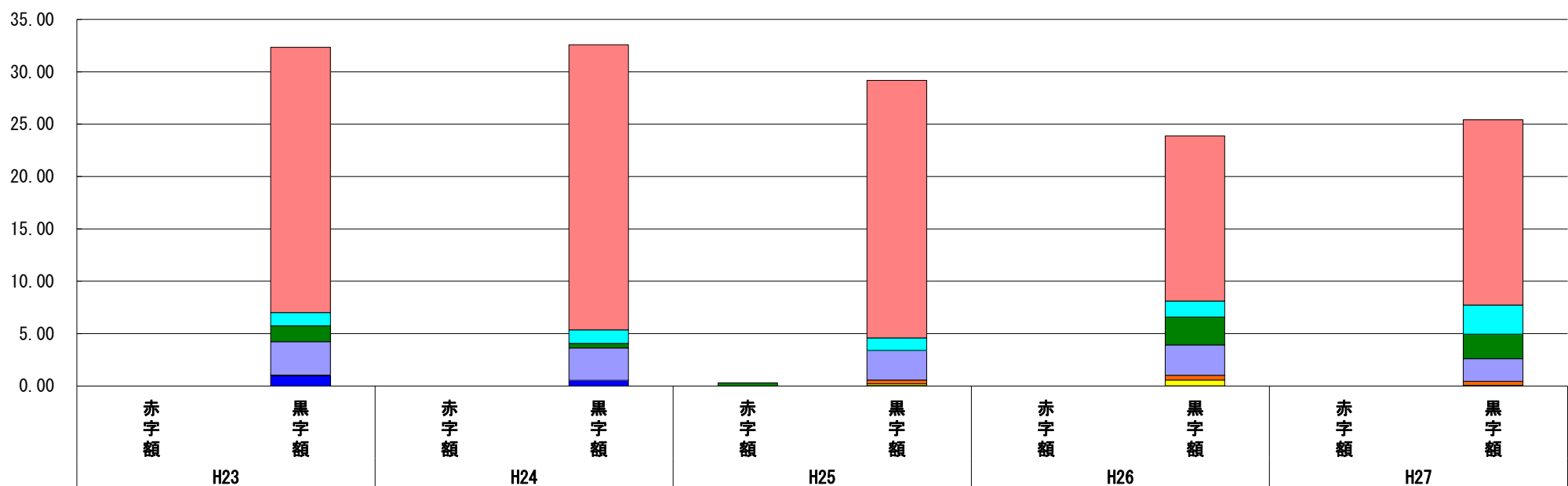
次に、各種収支の状況については、形式収支から繰越財源を除いた実質収支（決算剰余金）は平成21年度から平成27年度までの全年度で黒字であり、財政赤字は発生していない。また、当該年度決算の実質収支から前年度の実質収支を差し引いて求められる単年度収支は、平成22年度は黒字、平成23年度から平成26年度は赤字となっていたが平成27年度は僅かながら黒字となっている。

(8) 連結実質赤字比率に係る赤字・黒字の構成分析（市町村）

平成27年度

埼玉県鳩山町

標準財政規模比（％）



標準財政規模比（％）

年度		H23	H24	H25	H26	H27
会計						
水道事業会計		25.33	27.22	24.59	15.76	17.69
介護保険特別会計		1.26	1.29	1.20	1.53	2.78
国民健康保険特別会計		1.52	0.44	▲ 0.30	2.66	2.33
一般会計		3.19	3.08	2.82	2.91	2.17
鳩山町毛呂山・越生都市計画事業今宿東土地区画整理事業		-	-	0.36	0.46	0.37
鳩山町毛呂山・越生都市計画事業今宿東土地区画整理事業（普通会計）		-	-	0.16	0.54	0.03
浄化槽設置管理事業特別会計		0.02	0.02	0.03	0.01	0.02
後期高齢者医療特別会計		0.02	0.01	0.01	0.01	0.01
その他会計（赤字）		-	-	-	-	-
その他会計（黒字）		1.00	0.52	0.01	0.00	0.01

分析欄

平成19年度決算からの算出開始以来、平成24年度までは一般会計及び特別会計等の全ての会計において毎年度黒字となっていた平成25年度については国民健康保険特別会計が赤字となったものの平成26年度からは黒字となっている。

分母となる標準財政規模が、対前年度比で平成20年度に減額となったものの、平成21年度から平成23年度の間連続して増加し、平成24年度に減少するなど若干変動している状況である。

また、地方公営企業法適用事業である水道事業会計については、一般会計やその他の特別会計とは異なり、当年度内の歳入歳出以外に流動資産なども算出に含まれるため、他の会計と比較して比率が大きくなっている。

水道事業会計を除いた各特別会計への一般会計からの繰出金額は全体的に増加傾向が続いており、特に国民健康保険事業においては、法定負担のみにとどまらず、法定外負担も必要となっている状況となっており、一般会計の負担は非常に大きくなっている。そのようなことから、今後は、一般会計のみならず、特別会計においても、できる限りの収入確保対策を行い、一般会計からの繰出額を減少させるように努めていかなければならない。

また、一般会計においても、介護保険事業、国民健康保険事業そして後期高齢者医療事業の各特別会計に対しては、各特別会計事業費が増大すれば、連動して法定負担も増加するため、町税等自主財源の確保や歳出の更なる削減をしていかなければならず、実質赤字比率が生じなかったとはいえ、楽観視できない状況となっている。

そのようなことから、今後においても限りある予算の効率性を高め、適切な受益者負担となるよう健全な行財政運営及び経営管理を推進して行く必要がある。

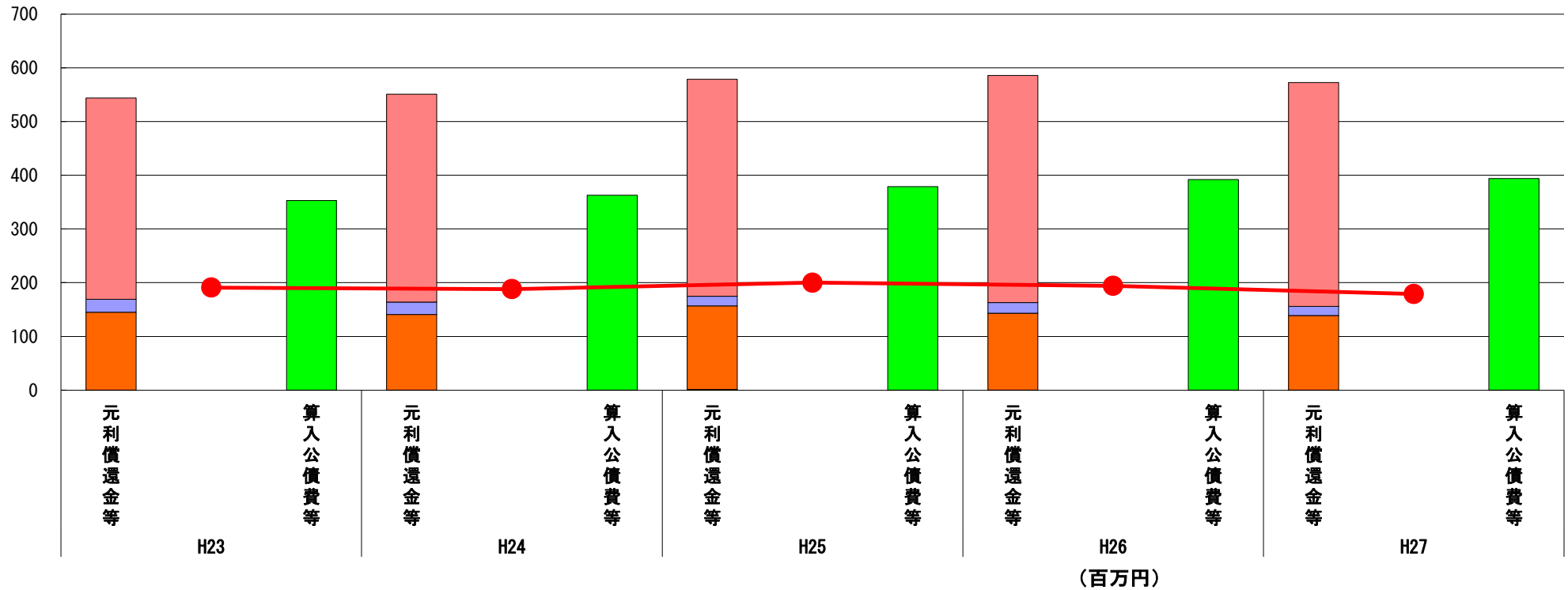
※平成28年度中に市町村合併した団体で、合併前の団体ごとの決算に基づく連結実質赤字比率を算出していない団体については、グラフを表記しない。

(9) 実質公債費比率（分子）の構造（市町村）

平成27年度

埼玉県鳩山町

(百万円)



分子の構造		年度	H23	H24	H25	H26	H27
元利償還金等 (A)	元利償還金		375	387	404	423	417
	減債基金積立不足算定額		-	-	-	-	-
	満期一括償還地方債に係る年度割相当額		-	-	-	-	-
	公営企業債の元利償還金に対する繰入金		24	23	18	20	17
	組合等が起こした地方債の元利償還金に対する負担金等		145	141	156	143	139
	債務負担行為に基づく支出額		-	-	-	-	-
	一時借入金の利子		0	0	1	0	0
算入公債費等 (B)	算入公債費等		353	363	379	392	394
(A) - (B)	実質公債費比率の分子		191	188	200	194	179

分析欄

平成22年度に公共投資臨時交付金による義務教育施設の耐震化等を積極的に実施。また、平成24年度の県道歩道整備事業、都市公園整備事業や緊急防災・減災事業の実施や、平成25年度の防災安全交付金事業、26年度はがんばる地域交付金事業の財源として各種起債を活用したため、以降増加傾向となっている。

また、公営企業債の元利償還金に対する負担金等については、平成20年度に各会計内収支等により一時的に減少したものの、公共下水道事業を除き、農業集落排水事業と特定地域生活排水処理施設整備事業が増加傾向が続くことから、全体的にも増加傾向となっている。そして、組合等が起こした地方債の元利償還金に対する負担金等については、各施設の建設事業債借入が段階的に償還終了となっているため、平成20年度以降減少傾向である。なお、算入公債費と実質公債費比率の分子については、上記とほぼ連動するため、公営企業債を除いた理由と同様に減少傾向となっている。そのようなことから、今後の対応策としては、実質公債費の動向を見極めながら、特に償還終了と同時に老朽化が進んでいる施設更新等においては、計画的な事業の実施を行う必要がある。

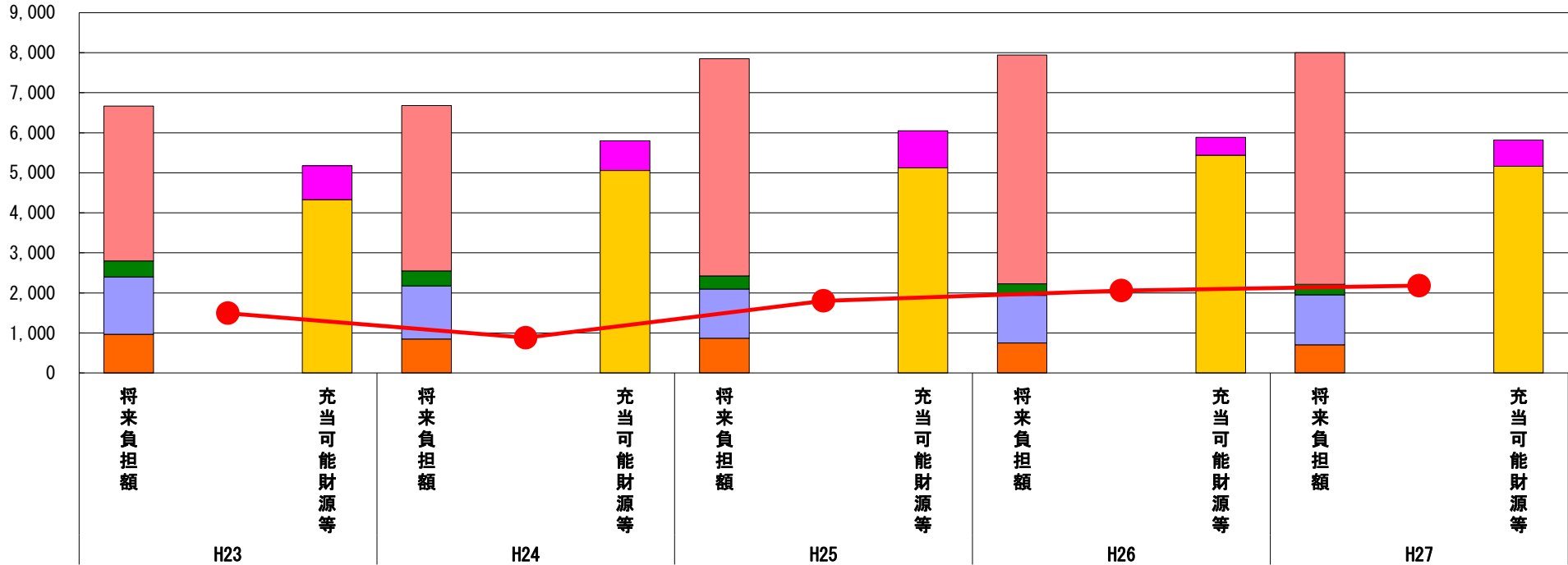
※平成28年度中に市町村合併した団体で、合併前の団体ごとの決算に基づく実質公債費比率を算出していない団体については、グラフを表記しない。

(10) 将来負担比率（分子）の構造（市町村）

平成27年度

埼玉県鳩山町

(百万円)



(百万円)

分子の構造		年度	H23	H24	H25	H26	H27
将来負担額 (A)	一般会計等に係る地方債の現在高		3,873	4,130	5,426	5,709	5,789
	債務負担行為に基づく支出予定額		-	-	-	-	-
	公営企業債等繰入見込額		399	375	325	291	258
	組合等負担等見込額		1,433	1,327	1,230	1,190	1,249
	退職手当負担見込額		964	848	867	748	705
	設立法人等の負債額等負担見込額		-	-	-	-	-
	連結実質赤字額		-	-	-	-	-
	組合等連結実質赤字額負担見込額		-	-	-	-	-
充当可能財源等 (B)	充当可能基金		847	744	922	441	662
	充当可能特定歳入		-	-	-	-	-
	基準財政需要額算入見込額		4,326	5,057	5,125	5,442	5,160
(A) - (B)		将来負担比率の分子	1,495	879	1,800	2,055	2,179

分析欄

一般会計等に係る地方債現在高については、平成20年度以降新たな建設事業債を行ったり、平成13年度以降、臨時財政対策債を毎年度借入していることなどから増加傾向が続いている。

また、公営企業債等繰入見込額についても、平成20年度に区画整理事業の会計区分見直しを行ったことにより、平成21年度までは減少したが、農業集落排水事業において、平成21年度に全ての事業債の元金据置期間が終了したことから、平成22年度以降増加傾向に転じている。

しかし、組合等負担等見込額については、各組合施設の建設事業債借入が段階的に償還終了となっていることから減少傾向となっている。

また、退職手当負担見込額についても、行財政改革計画等により、職員数の削減を段階的に行っていることから減少傾向となっている。

続いて、充当可能基金については、平成22年度に比企ふるさと市町村圏廃止に伴う清算金などの積立や成25年度の地域の元金臨時交付金基金の新設により増加により一時的に増加した年度もある。町税を中心に一般財源の減少傾向が続いている。

また、基準財政需要額算入見込額については、人口減少により全体的には減少傾向にあるものの、道路橋りょう費や、高齢者福祉費、公債費など部分的な増加要因もあることから増加傾向となっている。

以上のようなことから、将来負担比率の分子としては、内容によりそれぞれ増加と減少の傾向が異なっているため変動する状況となっているが、将来負担因子の動向を見極めながら、計画的な借入を行っていく必要がある。

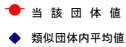
※平成28年度中に市町村合併した団体で、合併前の団体ごとの決算に基づく将来負担比率を算出していない団体については、グラフを表記しない。

(11)市町村公会計指標分析／財政指標組合せ分析表

平成27年度

埼玉県鳩山町

人	14,389	人(H28.1.1現在)	実	質	赤	字	比	率	-	%
うち日本人	14,295	人(H28.1.1現在)	連	結	実	質	赤	字	比	率
面積	25.73	km ²	実	質	公	債	費	比	率	6.2
歳入総額	5,021,556	千円	将	来	負	担	比	率	69.3	%
歳出総額	4,942,282	千円	市	町	村	類	型	H23	Ⅳ-2	H24
実質収支	78,224	千円	(	年	度	毎	)	H26	Ⅳ-2	H27
標準財政規模	3,534,745	千円							Ⅲ-2	H25
地方債現在高	5,788,642	千円							Ⅳ-2	



※ 有形固定資産減価償却率は平成28年10月1日時点で固定資産台帳を整備済みの団体について、債務償還可能年数は平成28年10月1日時点で統一的な基準による財務書類を作成済みの団体について、数値を記載している。

※ 市町村類型とは、人口および産業構造等により全国の市町村を35のグループに分類したものである。当該団体と同じグループに属する団体を類似団体と言う。

※ 住民基本台帳人口については、住民基本台帳関係年報の調査基準日変更に伴い、平成25年度以降、調査年度の1月1日現在の住民基本台帳に搭載されている人口を記載。

※ 類似団体内順位、全国平均、各都道府県平均は、平成27年度決算の状況である。また類似団体が存在しない場合、類似団体内順位を表示しない。

有形固定資産減価償却率	類似団体内順位	全国平均	埼玉県平均	債務償還可能年数	全国平均	埼玉県平均
有形固定資産減価償却率	【-】	55.6	56.0	債務償還可能年数	22.9	0.0
固定資産台帳整備中・未整備	有形固定資産減価償却率の分析欄			財務書類作成中・未作成	債務償還可能年数の分析欄	

将来負担比率及び有形固定資産減価償却率の組合せによる分析

将来負担比率と有形固定資産減価償却率の推移
固定資産台帳整備中・未整備

分析欄						
(参考)						
当該団体値	将来負担比率	H23	H24	H25	H26	H27
	有形固定資産減価償却率					
類似団体内平均値	将来負担比率					
	有形固定資産減価償却率					

将来負担比率及び実質公債費比率の組合せによる分析

将来負担比率と実質公債費比率の推移

将来負担比率

実質公債費比率

分析欄

将来負担比率については、算出基準となる将来負担額が、平成25年度以降緊急防災・減災事業や学校教育施設等整備事業や社会資本整備総合交付金事業等の財源として地方債を活用したことなどにより地方債の現在高が増加したことから、平成24年度以前を大きく上回る結果となっている。実質公債費比率については、類似団体内平均を下回っているが、比率の増加も見込まれていることから、今後も、今まで以上に国県補助金の活用や交付税措置のある地方債を出来るかぎり活用するなど、類似団体内平均値を上回ることのないような財政運営を心がける必要がある。

(参考)

		H23	H24	H25	H26	H27
当該団体値	将来負担比率	48.8	29.3	60.0	68.6	69.3
	実質公債費比率	6.8	6.2	6.3	6.4	6.2
類似団体内平均値	将来負担比率	64.3	61.3	54.6	48.7	13.1
	実質公債費比率	12.3	11.7	11.2	10.4	8.9

(12)–1市町村施設類型別ストック情報分析表①

平成27年度

埼玉県鳩山町

人	口	14,389	人(H28.1.1現在)	実	質	赤	字	比	率	-	%
うち日本人		14,295	人(H28.1.1現在)	道	輪	実	質	赤	字	-	%
面	積	25.73	km ²	実	質	公	債	費	比	率	6.2
歳入総額		5,021,556	千円	得	未	負	担	比	率	69.3	%
歳出総額		4,942,282	千円	市	町	村	類	型		H23 Ⅳ-2	H24 Ⅳ-2
実質収支		78,224	千円	(	年	度	毎	)		H26 Ⅳ-2	H27 Ⅲ-2
標準財政規模		3,534,745	千円								
地方債残高		5,788,642	千円								

※ 平成28年10月1日時点で固定資産台帳を整備済みの団体について、数値を記載している。

※ 市町村類型とは、人口および産業構造等により全国の市町村を35のグループに分類したものである。当該団体と同じグループに属する団体を類似団体と置く。

※ 住民基本台帳人口については、住民基本台帳関係年齢の調査基準日変更に伴い、平成29年度以降、調査年度の1月1日現在の住民基本台帳に登録されている人口を記載。

※ 類似団体内順位、全国平均、各都道府県平均は、平成27年度決算の状況である。また類似団体が存在しない場合、類似団体内順位を表示しない。

固定資産台帳整備中・未整備

施設情報の分析欄

(12)-2市町村施設類型別ストック情報分析表②

平成27年度

埼玉県鳩山町

人	14,389	人(H28.1.1現在)	実	実	率	比	率	-	%
うち日本人	14,295	人(H28.1.1現在)	通	輸	実	率	比	率	-
面積	25.73	km ²	実	公	費	比	率	6.2	%
歳入総額	5,021,556	千円	得	来	負	担	比	率	69.3
歳出総額	4,942,282	千円	市	町	村	類	型	H23	Ⅳ-2
実収支	78,224	千円	(	年	度	毎	)	H26	Ⅳ-2
標準財政規模	3,534,745	千円						H27	Ⅲ-2
地方債残高	5,788,642	千円							

※ 平成28年10月1日時点で固定資産台帳を整備済みの団体について、数値を記載している。

※ 市町村類型とは、人口および産業構造等により全国の市町村を35のグループに分類したものである。当該団体と同じグループに属する団体を類似団体と置く。

※ 住民基本台帳人口については、住民基本台帳関係年齢の調査基準日変更に伴い、平成29年度以降、調査年度の1月1日現在の住民基本台帳に登録されている人口を記載。

※ 類似団体内順位、全国平均、各都道府県平均は、平成27年度決算の状況である。また類似団体が存在しない場合、類似団体内順位を表示しない。

固定資産台帳整備中・未整備

施設情報の分析欄